

入院患者における褥瘡発生率(病院全体)

目的

病院内褥瘡患者の実態把握

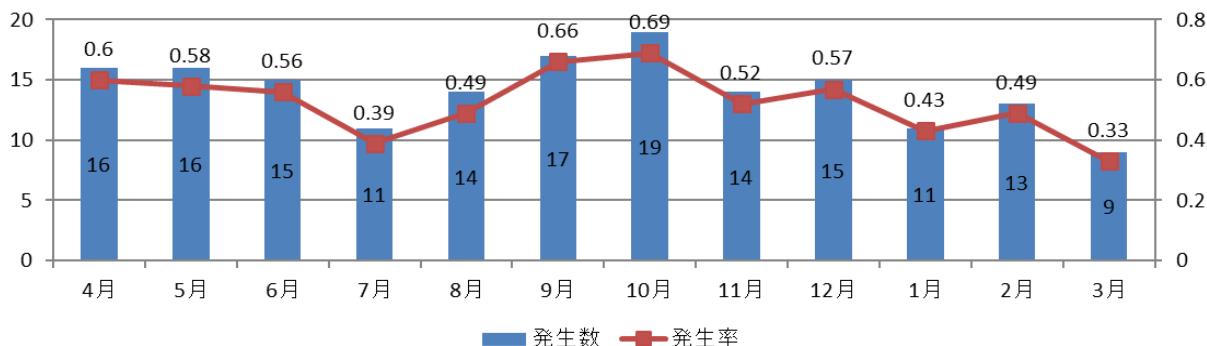
分母

同日入院患者または持ち込み患者または調査月間以前に院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数

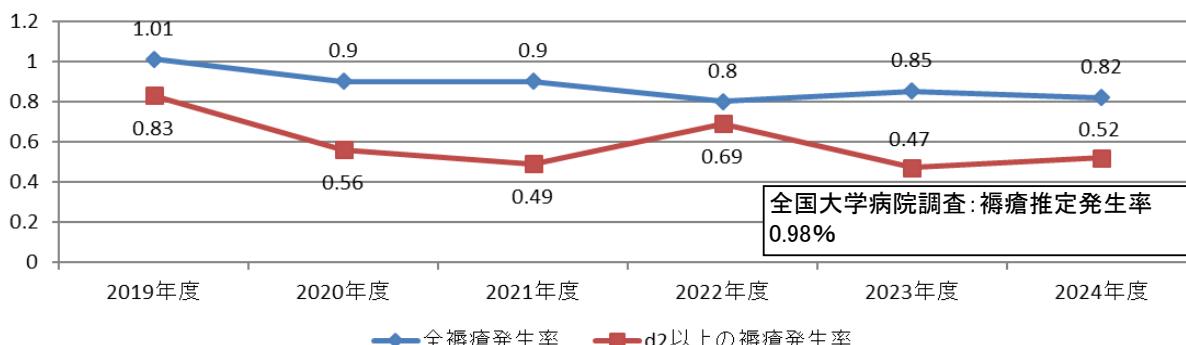
分子

d2(真皮までの損傷)以上の院内新規褥瘡患者数

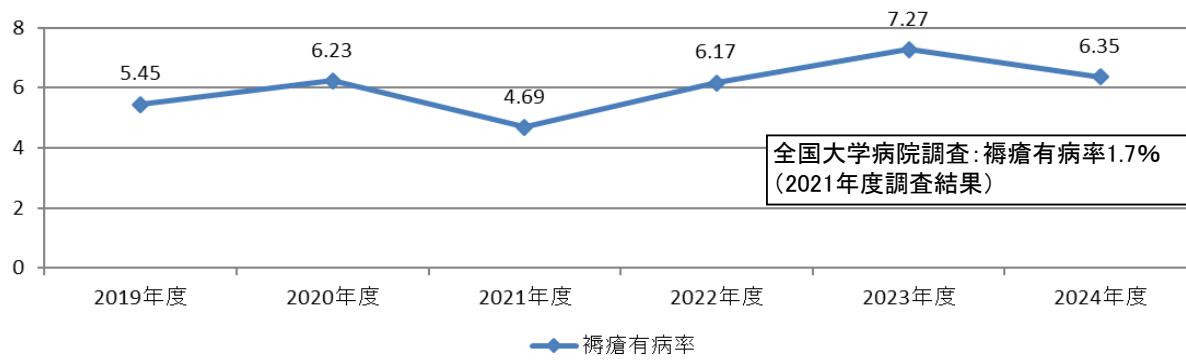
d2以上の院内新規褥瘡発生数・褥瘡発生率(2024年度月別)



全新規褥瘡発生率とd2以上の褥瘡発生率の比較(年度別)



褥瘡有病率(年度別)



データ分析コメント

当院は特定機能病院であるとともに、高度救命救急センターを併設する大学病院であるため、褥瘡発生リスクの高い方々が多く入院される状況にあります。そのため、褥瘡発生率はQIプロジェクトの平均値や全国の大学病院と比較し、高い状況にあります。加えて、褥瘡発生リスクの非常に高い、ご自宅や施設などから既に褥瘡をもつて入院される方が他院に比べ多いことも、褥瘡発生率が高い理由の1つとして挙げられます。当院では褥瘡予防マットレスの整備を計画的に進めており、今年度は高機能エアマットレスに加え、体位を整えるために用いられるポジショニングピローの更新に向けて活動を進めています。さらなる褥瘡発生率の低下と患者さんが安心・安楽に療養生活を送れるように努めて参ります。